

総務文教委員会会議録

開催年月日	平成29年 2月 2日 (木)	場 所	議会委員会室
案 件	・調査第4号 防災計画について		
出席委員	萩原委員長、関野副委員長、岡本委員、天日委員、渋谷委員、後藤委員		
欠席委員	—	事務局	倉本
オブザーバー	—	傍聴者	—
説明員	—		
開会時刻	13時29分	実会議時間	00時間30分
		休憩時間	01時間53分
閉会時刻	15時52分	延会議時間	02時間23分
次回日程	2月 9日 13:30～		
要点記録	<p><概要></p> <p>○事務調査第4号「防災計画について」担当部局と意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄について <p>□事前に送付していた質問への回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日用品は流通備蓄。 ・食料は各家庭に3日分の備蓄を依頼。 ・備蓄の目標量はないが必要とされる資機材を整備。 ・保管場所は本庁舎、防水倉庫(花園町)、支所、消防団、学校に配置。 <p>■回答を受けて意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災資機材について、まずは非常電源設備の配備を進める。 ・これまでは冬の対応を念頭に電源と暖房の整備を行ってきた。 ・これからは不足しているポンプの増備を行いたい。 ・食料は市でも備蓄するべき。期限が切れる前に啓発活動で活用。 <p>→他市も状況は厳しいようである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有について <p>□事前に送付していた質問への回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の広報車：全部で8台（本庁5台、保健センター2台、山部1台） ・エリアメール：局地的な災害でも積極的に活用する。 ・電話対応：日中は直通で対応、土日や夜間は警備から取次 ・FMラジオ：法的な可聴域(中富良野～山部)。次年度に調査を実施。 <p>■回答を受けて意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイレンの吹鳴…今後鳴らす基準、回数を含めて消防と協議 <p>→無用な不安をあおらないよう留意が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話対応：ある程度の情報を録音した音声を流せないだろうか。 		

・回 転 灯…法令等により青色なら可能なので設置を検討中
→聴覚だけではなく、視覚にも訴えられるようにする。

・避難所について

□事前に送付していた質問への回答

- ・初 動 体 制…保健福祉部が中心に対応。
- ・施設の使い方…学校との連携を図り、機材も含め活用する。
- ・マニュアル…現在公表しているものは市民による運営を想定
- ・駐車場の対応…グラウンドの開放もやむなしと考えている。
- ・ペットの対応…厚生労働省からの指導で、ペットは別の場所を設ける。

■回答を受けて意見交換

- ・避難時の場所は特定の場所に限らず、災害の規模・種類によって柔軟な対応をお願いしたい。
- ・福祉避難所は他の避難所と調整しながら運営することが必要。
- ・職員にかかるマニュアルを作成中、完成しだい周知を図る。
- ・作成したマニュアルどおりに動くことは考えにくいので、アンケートのフィードバックなどによってより良いものにしていく。
- ・ペットについてはアレルギーの懸念もあり人間と一緒ににはできない。

・民間との協定、関係機関との連携について

□事前に送付していた質問への回答

- ・内容の確認…定期的な確認は行っていない。再確認が必要と認識
- ・応 援 体 制…応えていただくよう努めるが、確実なものではない。
- ・今後の動き…沿線5市町村とセブンイレブンが協定を締結（予定）

■回答を受けて意見交換

- ・セブンイレブンは相当数供給した実績あり。（災害の種類に左右）
- ・消防などとの横の連携を強化し、対応することが求められる。
→今回は消防から連絡員にお越しいただき、連携を図った。
→迅速かつ的確な対応をいただき、心強かった。

・他市町村との連携について

□事前に送付していた質問への回答

- ・全道、道北市長会、友好都市との協定はある。
- ・南富良野への対応について、町村会は独自で動いていたが、各市からの問い合わせは富良野市が窓口になって対応した。

■回答を受けて意見交換

- ・協定はないが、情報共有・連携を行わないというものではない。
- ・災害時にスムーズな対応ができるよう、協議が必要ではないか。
- ・自主防災組織について

□事前に送付していた質問への回答

- ・課 題…組織が定着していないというところも多い。

	<ul style="list-style-type: none"> ・方 向 性…組織化の必要性は認知。継続して啓発活動を実施。 ・フォロー体制…出前講座等で、簡単な防災訓練などを紹介する。 ・設立に向けて…阪神淡路大震災のとき、98%は自力、近所の力で生還。公的機関の助けで生還した方は数%しかいない。地域での助け合いが不可欠だということをお伝えする。 <p>■その他の事項について意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ○避難所の運営と通常業務とのバランスについて <ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営の裏側には行政の通常業務もあるので、どちらも両立できるように事業継続計画の策定が求められる。 ○避難者対象のアンケート結果について <ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告を知った方法：広報車35%、戸別訪問40% →あらゆる手段での周知が求められる <p>○次回の委員会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで議論、意見交換の内容をもとに、まとめに入る。
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

以上、委員会会議録について富良野市議会委員会条例第 27 条の規定により、ここに署名する。

委員長 萩 原 弘 之